

2015年4月7日

## タイで遮熱性能を高める Low-E 膜コーティングガラスの生産能力を 50%増強 ～東南アジアで高まるビルの省エネ化ニーズへ対応～

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、遮熱性能を高める Low-E 膜をコーティングしたガラスのタイでの生産能力を 50%増強します。また、今回の設備投資では、生産効率を改善するだけでなく、現在タイで製造している製品に比べてより高性能な製品をつくることが可能となります。投資場所はAGCフラットガラス・タイランド（以下、AFT）のサムットプラカン工場で、2016年第1四半期に生産開始予定です。

建設ラッシュが続く東南アジアでは、年間を通じて冷房を使用するため、昨今の燃料の輸入増加や電力不足などを背景に、ビルなどの大型建築物においては省エネ性の向上が課題となっています。この解決策として、冷房効率を高め使用エネルギー量削減に貢献する、Low-E 膜をコーティングしたガラスの需要が急速に高まっています。

こうした状況の下、東南アジア域内における Low-E 膜コーティングガラスの需要に十分対応するため、AFTの生産能力を50%増強することとしました。

さらに、現在AFTでは銀1層の Low-E 膜をコーティングしたガラスを製造、販売していますが、今回の設備投資により、銀2層の Low-E 膜をコーティングすることが可能となります。銀を2層コーティングすることにより、可視光線の透過率を維持しながら、遮熱性能が向上するため、明るく、熱を通さない窓づくりができます。

今般の投資によって、AFTは東南アジアで初めて、フロートガラスから銀2層の Low-E 複層ガラスまで一貫生産できる工場を持つ会社となります。AFTは同ガラスの今後の需要拡大と遮熱性能向上のニーズに対応し、建築物の省エネ化に貢献します。

### 【今回の投資により実現すること】

- ・ AFTにおける Low-E コーティングガラスの生産能力を50%増強し、東南アジア域内の同ガラスの需要に対応
- ・ 生産効率の改善
- ・ 遮熱性能の高い製品が製造可能
- ・ 東南アジアで初めて、一つの工場でフロートから銀2層の Low-E 複層ガラスまで一貫生産が可能

AGCは、今後も新興国において拡大する需要を着実に取り込み、経営方針 *AGC plus* のもと売上の拡大を目指します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

**AGC** 旭硝子株式会社 広報・IR室 小林 純一  
担当:高橋 TEL:03-3218-5603 Email:[info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)

  
ミラノ万博日本館に協賛しています。

**【ご参考】**

**AGCフラットガラス・タイランド**

代表者： 塩井 英喜

設立： 1963 年

生產品目： 建築用ガラス（フロート板ガラス、Low-E ガラス、複層ガラス、強化ガラス）自動車用素板ガラス、産業用ガラス、ミラー

工場： サムットプラカン工場、チョンブリ工場、ライヨン工場

以上